



## 空家の現状調査結果のお知らせ

昨年10月から11月にかけて、支部長・班長にご協力をいただき、空家の実態調査を実施しましたが、この度その調査結果を取り纏めましたので概要をお知らせいたします。

この調査は、空家と思しき家屋の樹木や雑草の繁茂、家屋の劣化や破損等を確認し、柏ビレジの住環境の維持改善に努めるとともに防犯・防災上の観点からの対応を目的として実施したもので今回は3回目の調査となりました。(1回目は平成26年度、2回目は平成28年度)

調査結果は以下の通りです。

- ①空家戸数は62軒(空家率は約4%)
  - \*平成26年度調査では56軒(空家率約4%)、平成28年度調査では58軒(約4%)
  - \*平成28年度・29年度とも空家は20軒、平成26年度・28年度・29年度とも空家は12軒
- ②樹木や雑草が繁茂した空家は22軒
- ③家屋の一部が劣化・破損している空家は7軒

### 1. 今回の調査結果から見えること

- ①空家率は約4%と全国平均約14%と比べて低く、問題のない水準と言えます。
- ②平成29年の新規空家は29軒ですが、新たに24軒の方々がビレジに入居され一定の割合で住民の入れ替わりが進んでいます。
- ③樹木の繁茂や家屋が一部劣化となっている空家について、対応を急ぐ必要のある家屋はないと判断しました。
- ④空家62軒の内5軒は所有者に対し改善措置を要請する必要があると判断し、既に一部取組みを開始しています。

### 2. 今後の課題

- ①高齢化の進捗から今後も空家が増加すると予想され、早期の情報共有化や対応が求められます
- ②良好な住環境は活力ある街づくりに不可欠であり、また防犯・防災上の観点から重要であり、今後も定点観測を行うことが重要です。
- ③街の活性化への努力とともに良好な住環境の維持によりこの街に住みたいという住民を増やす努力が求められ、空家となった場合に必要な情報提供にも努める所存です。
- ④諸般の事情により転居を余儀なくされたお宅には、自治会に退去届を必ず提出していただくようお願いします。また、隣家の方々には、転居されるお宅の連絡先等についてできる範囲で情報を得ていただくようお願いいたします。

以上